

## 体感型ショールーム「<sup>やごと</sup>ハイムギャラリーパーク八事」オープン

- 『スタディギャラリー』『インテリアギャラリー』からなる複合型の体感型ショールーム
- “学び”と“楽しさ”の追求。デジタル×アナログによる体感型設備の充実

2020年2月27日  
セキスイハイム中部株式会社

セキスイハイム中部株式会社（本社：名古屋市東区、代表取締役社長：八木健次、以下「当社」）は、2020年3月7日（土）より、名古屋を代表する文教地区である八事に体感型ショールーム『ハイムギャラリーパーク八事（名古屋市昭和区）』をオープンします。

当社は、セキスイハイムグループの体感型ショールーム全国展開の一環として、2018年から「セキスイハイムミュージアム三重（三重県四日市）」、「ハイムギャラリーパーク岐阜（岐阜県岐阜市）」などの体感型ショールームをオープンし、多くのお客様にご好評いただいています。当施設は文教地区に相応しい家づくりを学ぶ場の提供を目指し、“学びやすさ”と、その学びを定着させるための“楽しさ”・“驚き”をさらに進化させました。

セキスイハイムの3階建て住宅「デシオ」をベースとした「スタディギャラリー」と「インテリアギャラリー」からなる複合型施設です。住宅建築を検討されているお客様に、まず家づくりに関する一般的な知識をご理解いただき、そのなかでセキスイハイムの位置づけや特長をご納得いただきながら説明を進めることで、お客様満足度の向上を目指します。

### 『ハイムギャラリーパーク八事』の概要

#### ■「スタディギャラリー」「インテリアギャラリー」からなる複合型の体感型ショールーム

「スタディギャラリー」は、[家づくりスタディ][ハイムスタディ][未来の家スタディ]の3つのギャラリーから構成される、映像システムや体感模型を複数導入した体感型のエリア。

「インテリアギャラリー」は、最新トレンドの間取りや住宅設備の提案だけでなく、独自の空調システムを体感していただけるエリアです。既存の体感型ショールームで培ったノウハウをベースに、文教地区に相応しい「学ぶ環境」を目指す情報発信拠点です。

#### ■“学び”と“楽しさ”の追求。デジタル×アナログによる体感型設備の充実

##### ①非日常をリアルに感じる映像技術で、災害時や未来の暮らしを学ぶ

家づくりにおいて重要なことを記憶に残るかたちとしてご理解いただくために、4DシアターやVRなど、五感を刺激する映像体験を複数導入。

##### ②巨大地震に対する備えや日本の家づくりを学ぶ

当社販売エリアにおいて関心の高い巨大地震への対策や日本の家づくりについて、実際の構造部材やジオラマ模型、アニメーション映像などを用いて解説します。

##### ③未来の暮らしからいま選ぶべきスマートハウスを学ぶ

スマートハウスの知識や現状、そして将来の発展性について、お客様参加型のコンテンツにより、暮らしとエネルギーのあるべき姿についてご理解いただけます。

#### ■施設概要

- ◎名 称：ハイムギャラリーパーク八事
- ◎グランドオープン：2020年3月7日（土）
- ◎所 在 地：愛知県名古屋市昭和区八事本町16  
朝日新聞総合住宅展示場 八事ハウジング 内
- ◎定 休 日：毎週火曜日・水曜日  
(他、朝日新聞総合住宅展示場の定休日に準じます。)

※原則として、自由にご見学いただけますが、一部、ご予約者優先の見学コーナーもあります

## 『ハイムギャラリーパーク八事』のねらい -文教地区に相応しい情報提供-

失敗しない家づくりのためには、適切な情報収集と理解が必要となります。とりわけ情報過多の現代においては膨大な資料やデータの中からお客様だけで正しい情報を選ぶことは困難です。『ハイムギャラリーパーク八事』では、豊かな自然と多くの教育施設が集まる文教地区として知られる「八事」に相応しい学ぶ姿勢を重んじ、家づくりに必要な一般情報を客観的な視点から整理し、施設内のエリアを「スタディギャラリー」と名付けわかりやすい形でお伝えすることを目的としています。お客様の家づくりにおける判断基準形成をサポートし、セキスイハイムの建築手法である工場生産による品質、ユニット工法による性能の高さについてご納得いただく新しい営業スタイルに取り組み、お客様満足度を高めることを目的としています。

## 『ハイムギャラリーパーク八事』の構成 -「スタディギャラリー」「インテリアギャラリー」からなる複合型施設

学びの場となる3つの「スタディギャラリー」と最新の住まいを確認できる「インテリアギャラリー」から空間構成されます。

### 1. 「スタディギャラリー」

▼ハイムギャラリーパーク八事の全体構成

#### 家づくりスタディギャラリー(1階)

当社販売エリアにおいてお客様の関心の高い地震など、災害に強い家の基準をご理解いただくための展示を用意。中部・東海エリアで今後30年の間に70-80%<sup>\*1</sup>の確率で発生予測されている南海トラフ地震だけでなく、昨今、被害規模が拡大している巨大台風についても、お客様に向けて情報発信を行います。



#### ハイムスタディギャラリー(2階)

セキスイハイムの特徴である工場生産やボックスラーメン構造について紹介し、当社がなぜこれらの建築工法や住宅構造を採用したかの理由を解説します。また長期にわたってお住まいいただくために必要な住まいの保証制度についても、一般的な実例を交えながら失敗しないための選び方をクイズ形式でわかりやすく解説します。

#### 未来の家スタディギャラリー(3階)

スマートハウス No.1 を目指すメーカーとして、見ただけではわからない、エネルギーコントロールやIoT技術について、体感しながらその利便性や経済メリット、その環境効果についても解説します。また、被災生活にて証明されつつある蓄電池をはじめとした減災への有効性についても、わかりやすく解説しています。

### 2. 「インテリアギャラリー」

最新トレンドの間取りや住宅設備を提案しています。40代のご夫婦+お子様2人を想定した、“上質さとこなれ感の程よいバランス”がコンセプト。ホテルライクな寛ぎが生まれる空間や、ご友人を招いてのおもてなしのひとときを叶える空間を設計。また、お客様の計画中の間取りを3Dシミュレーションで確認できる「アルファス<sup>\*2</sup>」システムのプレゼンテーションルームも設置しました。新居のイメージを見える化することで、お住まいになってからの満足度を高めます。

## 『ハイムギャラリーパーク八事』の特徴－最先端の体験型映像技術の充実

### 1. 非日常をリアルに感じる映像技術で、災害時や未来の暮らしを学ぶ

『ハイムギャラリーパーク八事』で導入した、主な映像技術や体感型設備は以下の5つです。

#### ①巨大地震体感4Dシアター

南海トラフ巨大地震のシミュレーション動画などで構成された映像と大音響に加え、今回新しく採用した4D技術※3（「振動」「フラッシュ演出」「風の体感」）により臨場感をもって体感していただくことで、減災住宅の重要性・必要性をご理解いただけます。



▲巨大地震体感4Dシアター(イメージ)

#### ②ハイムユニットVR

ヘッドマウント型の360°VR体感装置を導入し、建物の仕組みや構造、建築工程を体験できます。映像は、仮想空間バーチャルファクトリー内で、家づくり博士の「ドクターハイム」とそのアシスタント「LABO」が登場するコンテンツです。アトラクション感覚で家づくりをご理解いただけます。



▲ハイムユニットVR(イメージ)

#### ③可動型工場ジオラマ×QRコード活用映像配信

セキスイハイムの工場生産の全貌を再現したジオラマと共に、家づくりの各工程を解説します。タブレット端末のカメラ機能を用いたQRコード※4の読み込みにより、ジオラマと連動した実際の工場内建築シーンの映像をご覧いただけます。

#### ④インタラクティブ・コンテンツ「これからの暮らしとエネルギー」

社会・暮らし・住まいとエネルギーの関係を、タッチセンサー技術を活用したプロジェクションマッピングによる図解コンテンツで解説します。



▲対話型コンテンツ  
これからの暮らしとエネルギー

#### ⑤対話型コンテンツ「未来型スマートハイム」

スマートハウスの利便性や経済メリットを音声操作やスマートフォンの遠隔操作などを活用して、キャラクターと対話しながら生活を体感していただけます。

### 2. 巨大地震に対する考え方、日本の家づくりを学ぶ

「家づくりスタディギャラリー（1階）」では、4DシアターやVRを活用するほか、住まいの工法模型や実際の部材などを用い、一般的な日本の住宅建築の構造・工法から解説。日本の家づくりにおける大地震への備え方をご理解いただけます。特に住宅選定における「住宅の作り方・基礎の選び方・強い構造の見極め方」については、災害に強い住宅をつくる上での重要な情報と捉え、お客様の家づくりにおける判断基準形成をサポートいたします。

「ハイムスタディギャラリー（2階）」においては、ハウスメーカーで採用される鉄骨（ブレース・ラーメン）構造住宅の特徴について、実物の鉄骨スケルトン展示やアニメーション映像を使ってわかりやすく解説します。



▲家づくりスタディギャラリー(1階)



▲ハイムスタディギャラリー(2階)

### 3. 未来の暮らしと今選ぶべきスマートハウスを学ぶ

未来の暮らしとスマートハウスの知識や今後の発展性について3つのパートにわけて解説します。

#### ①暮らしの進化年表

1964年東京オリンピックから2020年東京オリンピックまでの技術の進化と暮らしの変化を通して、暮らしとエネルギーの深い結びつきをご理解いただきます。

#### ②インタラクティブ・コンテンツ「これからの暮らしとエネルギー」

社会・暮らし・住まいとエネルギーの関係や現状と未来について、プロジェクションマッピング映像にて紹介します。電力価格の上昇リスク、自然災害と停電の関連性他、ZEH<sup>※5</sup>の必要性、電力の自給自足、EV（電気自動車）の活用、スマートハイムの日から、お客様自身が興味関心のある部分に触れると、タッチセンサーが認識し解説します。

#### ③未来型スマートハイム体感

セキスイハイムのスマートハウス「スマートハイム」で実現可能なHEMS<sup>※6</sup>機能、IoT<sup>※7</sup>による暮らしの利便性、将来の拡張性について、一日の暮らしを再現するプレゼンテーションでお伝えします。スマートフォンと連携するIoT化された宅配BOXの活用をはじめ、最新の住設備についても体感していただきます。



▲未来型スマートハイム体感（イメージ）

※1：70-80%：政府 地震調査研究推進本部より発表

([https://www.jishin.go.jp/regional\\_seismicity/rs\\_kaiko/k\\_nankai/](https://www.jishin.go.jp/regional_seismicity/rs_kaiko/k_nankai/))

※2：株式会社ワイドソフトデザインが開発した計画中の間取りを立体的にシミュレーションできるシステム

※3：デジタルコンテンツの中でデジタル以外のリアルな要素を取り入れた手法のこと

※4：Quick Response の頭字語であり、高速読み取りを目的の1つとしている名称。

「QRコード」はデンソーウェーブの登録商標です。

※5：ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス

※6：コンサルティング型ホームエネルギーマネジメントシステム「スマートハイムナビ」

※7：Internet of Things

### 『ハイムギャラリーパーク八事』ショールーム外観とロゴ

地上3階建て 延床面積 424.93 m<sup>2</sup>（1階 152.96 m<sup>2</sup>、2階 142.39 m<sup>2</sup>、3階 129.58 m<sup>2</sup>）



ハイムギャラリーパーク

HeimGalleryPark

| YAGOTO |

<セキスイハイム中部グループのお客様向け情報発信拠点について>

分類	名称	所在地	対象のお客様	開設時期
体感型ショールーム	セキスイハイムミュージアム三重	三重県四日市市	検討初期段階	2018年12月
	セキスイハイムミュージアム岐阜	岐阜県岐阜市	検討初期段階	2019年8月
	ハイムギャラリーパーク北陸	石川県野々市市	検討初期段階	2019年11月
	ハイムギャラリーパーク八事	名古屋市昭和区	検討初期段階	2020年3月
体感型宿泊施設	快適宿泊体験館	名古屋市緑区	検討初期段階	2019年4月
体感型インテリア ショールーム	ハイムデザインミュージアム 名古屋	名古屋市東区	検討段階～ 契約後	2019年5月
住まいの価値向上 リフォームのための ショールーム	セキスイファミエスミュージアム 名古屋西	名古屋市西区	リフォーム検討	2019年4月
	セキスイファミエスミュージアム 三重	三重県津市	リフォーム検討	2019年4月
	セキスイファミエスミュージアム 岡崎	愛知県岡崎市	リフォーム検討	2019年7月
	セキスイファミエスミュージアム 名東	名古屋市名東区	リフォーム検討	2019年9月

**[セキスイハイム中部 株式会社 会社概要]**

- ◎設 立：1985年3月
- ◎資 本 金：3億円（積水化学工業株式会社 100%出資）
- ◎代 表 者：代表取締役社長 八木健次
- ◎売 上 高：468億円（2019年3月決算）
- ◎従 業 員 数：675名（単体）（2019年4月現在）
- ◎事 業 内 容：1.ユニット工法住宅の販売・設計・施行管理  
2.その他 集合住宅・在来工法等建築工事全般  
3.宅地分譲等不動産取引
- ◎事 業 所：本社（名古屋市）、名古屋西支店、名古屋北支店、南営業部、名古屋東支店、豊橋営業部、  
特販営業部、北陸支店、岐阜支店、三重支店
- ◎展 示 場：愛知エリア 28 拠点、岐阜エリア 8 拠点、三重エリア 7 拠点、北陸エリア 4 拠点  
（2020年2月現在）
- ◎グループ会社：セキスイファミエス中部株式会社
- ◎本 社 所 在 地：〒461-0005 愛知県名古屋市東区東桜 1-13-3(NHK 名古屋放送センタービル 8F)

この件に関するお問い合わせは下記までお願いします。

〒461-0005 愛知県名古屋市東区東桜 1-13-3（NHK 名古屋放送センタービル 8F）

■セキスイハイム中部株式会社 本社 営業企画部 高橋、後藤 TEL. 052-955-8935

■お問い合わせ時間：10：00～18：00 ■定休日：毎週水曜日・日曜日